

聞いてしまいました。

吉伸さん…私たち二人とも地元じゃないので、身近に相談できる場所があるというのは安心できます。

—何か困っていることはありませんか。

梓さん…今後のことなのですが、私たちはアパートで暮らしていますので、子どもの泣き声などで、他の入居者に迷惑をかけるんじゃないかと心配です。今はそれなりに注意しているからいいのですが、子どもが生まれたら…。実家の足寄町には子育て支援住宅があり、子育てをしている家族のみが入居できる公営住宅があります。そういうところが白糠町にもあればいいの、と思います。

それから、ベビー用品の不要品などがあれば、それを回収して必要な方が使つて、と。そういうレンタル制度のようなものがあればいいなと思います。

—住宅事情はありますが「子育ては白糠町で」と考えていますか。

梓さん…お互いの実家も近いですし、子育ての支援も手厚いので、これからは白糠町で暮らしていきたい

たいと思っています。私たち二人とも地元で高校まで通いました。白糠町でも小学校から高校まで地元に通えますので、そういうところもいいなと思います。

—今後は産後ケアになりますか。

吉伸さん…毎回違う方と話をするよりも、ずっと同じ方（助産師）に支援してもらえるのがいいですね。これまでの経過を知ってくれていますし。

梓さん…もし、急ぎよ生まれそうになったら、助産師さんに電話をして、一緒に救急車に乗ってもらうこともできますか？（笑）

本郷恵さん（助産師）…どうにもならないときはそうですね（笑）。もし『病院まで間に合わない！』となったら、そういうこともあり得るかもしれません。赤ちゃんを取り上げることはできますので。梓さん…本当ですか？それは安心しました。何かあればお湯を沸かして、バスタオルを用意すればいいんですよ（笑）

産後ケアとして

出産退院後、1週間程度で助産師が家庭訪問を行い、乳房トラブル

ルや母乳の相談、母の体調や新生児の体重のことなど、入院中に助産師から受けられていた支援が退院後も継続できるように、早期に訪問しています。

生後3週間経った頃には、助産師と保健師で家庭訪問を行い、前回の訪問から順調に育児ができているか確認をし、予防接種や今後の健康相談・健康診査の案内をしています。

そのほか、乳房ケアを受けたい方、母乳・ミルクや育児の相談、母親の体調等の相談などを受けています。

今月は4月12日に第3子を出産した、亀田春葉さん（以下、春葉



にか
4月12日に生まれた亀田仁架ちゃん。



さん）にお話を聞きました。4月22日に助産師が家庭訪問をしましたので、その様子を写真でお知らせします。

—第3子ということですが、産後ケア事業を受けたのは何回目ですか。

春葉さん…今回が初めてです。産前ケアは受けていません。

—初めて産後ケアを受けた感想はどうですか。

春葉さん…自宅に助産師さんが来